

新学習指導要領全面実施に向けて今年度すべきこと

令和元年がスタートしました。小学校は新学習指導要領全面実施のための最後の1年、中学校は移行期2年目となり、さらなる取組みの充実が求められます。そこで、新学習指導要領完全実施に向け、今年度学校全体としてすべきことを確認してみましょう。

【新学習指導要領完全実施に向けたチェックポイント】教育課程全体に関わって

- 学習指導要領改訂の趣旨理解と新学習指導要領下での学びのイメージの共有化を全職員で進めている。
- 教育課程全体で育成を目指す資質・能力を明確化・具体化し、全職員で共有している。
- 今年度の教育課程は、昨年度のを次の視点で見直して編成している。
 - 「資質・能力の育成」という視点
 - 教科等横断的な視点
 - 授業改善の視点
 - 「社会に開かれた教育課程」の視点
- 「外国語・外国語活動」の授業時数増（+20時間）にどう対応するか、具体的に考えている。（小学校）
総合的な学習の時間を減じている学校は、来年度は標準時間70時間にもどす必要があります。
- すでに実施となっている「特別活動」、「総合的な学習の時間」の全体計画、指導計画は、新学習指導要領に対応したものに作り直されている。
- 道徳教育の全体計画と別葉、「道徳科」の年間指導計画は整備されている。
- 「プログラミング教育」の実施に向けて準備を進めている。（小学校）
 - ・プログラミング教育の手引き（平成30年11月文科省）等を活用した理解促進、全体計画の作成、先行実施など
- 移行措置に対応した各教科の今年度版の指導計画の作成は済んでいる。

（参考：小学館 総合教育技術3月号）

【今年度の移行措置の対象学年及び内容】～未履修にならないよう十分に気をつけて下さい～

教科	校種	学年	移行措置の内容
			（新規…新たに加わったもの）（追加…他学年から移行するもの）（省略…他学年へ移行するもの）
国語	小学校	4年	新学習指導要領の漢字配当表により指導する。 新規 20字（都道府県名使用漢字）追加 5字（5・6年より）、削除 23字（5・6年へ） 現行 200 漢字→新 202 漢字
		5年	新学習指導要領の配当表により指導する。 追加 21字（4年より）、削除 13字（4年、6年へ） 現行 185 漢字→新 193 漢字
	中学校	1年	（追加）都道府県名に用いる漢字 20 字（4年生の新規と同じ） ※（追加）令和2年度の1年生に「共通語と方言の果たす役割について理解すること」
算数 数学	小学校	3年	（追加）B量と測定「長さ」「重さ」…接頭語（キロKやミリm）について（6年より）
		4年 補助教材	（新規）A数と計算「小数の仕組みとその計算」…小数を用いた倍 （追加）B量と測定「面積」…メートル法の単位の仕組み（長さと同面積）（6年より） （新規）D数量関係…「簡単な割合」
		5年 補助教材	（削除）A数と計算…「分数×整数」、「分数÷整数」（6年へ） （追加）B量と測定「直方体や立方体の体積」…メートル法の単位の仕組み（6年より） （追加）B量と測定…速さ（6年より）
	中学校	1年 補助教材	（追加）A数と式「正の数と負の数」…「素数の積」（3年より） （新規・省略）D資料の活用…（新）累積度数 （省）「誤差や近似値、 $a \times 10^n$ の表現」（3年へ） ※補助教材は来年度まで継続使用です。年度末に処分しないよう指導が必要です。 来年度の1年生分の補助教材がすでに学校に届いています。来年度まで各校で保管願います。

教科	校種	学年	移行措置の内容
社会	小学校	3年	現行3年・4年の指導内容のうち、3年では次のものを指導します。 (1) 身近な地域や市町村 (2) 地域の人々の生産や販売 <u>(4) 地域社会における災害及び事故防止(災害については「火災・事故」を扱う)</u> (5) 古くからの道具、そのころの暮らしの様子。 (注)(4)については、現状では4年で指導することが多いため注意が必要です。今年度学習しないと、今後学習する機会がなく未履修となってしまいます。また今年度は、消防署や警察署の見学・調査を3・4両学年で実施する学校も出てくるかと思えます。
		5年	(新規) 領土の範囲について竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることに触れる。
	中学校		※今年度の1年生から、授業時数は地理115(現行120)、歴史135(現行130)、公民100となる。
		地理	(新規) ・領土の範囲について北方領土に加え、竹島、尖閣諸島を扱う。
		歴史	(新規) ・「富国強兵・殖産興業政策」で北方領土に触れるとともに、竹島、尖閣諸島の編入も触れる。 ・「世界の古代文明」では、ギリシャ・ローマの文明について、政治制度など民主政治の来歴の観点から取り扱う。 ・「ユーラシアの変化」では、モンゴル帝国の拡大によるユーラシアの結びつきに気付かせる。 ・「ヨーロッパ人来航の背景」では、新航路の開拓の背景となるアジアの交易やムスリム商人などの役割と世界の結びつきに気付かせる。 ・「市民革命」では、政治体制の変化や人権思想の発達や広がり、現代の政治とのつながりなどと関連付けて、アメリカの独立、フランス革命などを扱う。
	理科	小学校	4年
5年			(省略) 水中の小さな生物(6年へ)
6年			(省略) 電気による発熱(中2年へ)
中学校		1年 補助教材	(追加) ・第1分野「力の働き」に「2力のつり合い」を追加。(3年より) ・第2分野「火山と地震」に「自然の恵みと火山災害・地震災害」を追加。(3年より) (省略) ・第1分野「圧力」のうち「水圧」の部分を省略。(3年へ) <u>※補助教材は来年度まで継続使用です。年度末に処分しないよう指導が必要です。来年度の1年生分の補助教材がすでに学校に届いています。来年度まで各校で保管願います。</u>
保健 体育		中学校 1年	(新規) 体育分野「運動やスポーツの楽しみ方」 (追加) 保健分野「主体と環境」(3年より) (追加) 保健分野「調和のとれた生活」(3年より)

※小学校外国語活動は、昨年度とすべて同じ対応になります。

【今年度の学習評価について】

①平成31年3月29日付け文科省通知により、新学習指導要領の下での学習評価について、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価することが示されましたが、**移行期間中は現行の4観点(国語5観点)(特別活動3観点)での評価となります。**

②総合的な学習の時間は、昨年度より新学習指導要領で実施されていますが、各学校で定める**目標や評価の観点の見直しは行なわれていますか?**目標を資質・能力の3つの柱で見直し、修正したうえで、評価の観点を適切に設定する必要があります。新3観点での評価となります。(3月29日付け文科省通知参考)

③道徳科の評価については新学習指導要領による評価を行い、指導要録の総合所見の欄に評価を記載します。